

農林水産業費
21億7,204万円

農地基盤整備促進事業

問 **和地太田地区の事業完了年度が令和8年度から令和9年度に変更され、事業期間を1年間延伸した理由は。**

答 道路の一部で湧水が確認され、道路機能を確保するための排水施設を追加する必要が生じた。この追加工事に必要な予算および工期を考慮し、完了年度を令和9年度に延伸した。

多面的機能支払市町村推進交付金

問 **令和7年度の会計実地検査において是正処理および是正改善措置を求められた要因は。**

答 委託により現地確認を行った農用地については、保全管理状況を整理していたが、限られた予算の範囲内での実施であったため、全ての対象農地を確認するまでには至らなかったことが要因の一つと考えている。



商工費
11億3,151万円

観光地維持管理事業

問 **どのような修繕が多かったのか。**

答 主な修繕としては、公衆便所の照明機器や配管など腐食による破損部分の修繕が最も多く、その他には浄化槽関連の機器の劣化により破損した部品等の修繕も行った。

観光推進事業

問 **第2回渥美半島花火大会の評価は。**

答 約4万人の方々が来場し、有料席約千席についても完売した。有料席を中心に実施した来場者アンケートでは、とてもよい、よいを合わせると90%、また、87・3%の方がまた見に来たいとの意向があるなど、来場者からは非常に高い評価を受けている。



土木費
33億1,126万円

景観形成推進事業

問 **ウエルカム花壇には菜の花とひまわりを植えていると思うが、この二つの花を選定した理由は。**

答 田原市の市の花、渥美半島菜の花浪漫街道のシンボルでもある菜の花を渥美半島菜の花まつりの開催時期である1月から3月にかけて咲かせ、夏季の景観形成として、7月から8月にかけてひまわりを咲かせるよう計画したものである。

空き家対策事業

問 **空き家解体促進事業補助金の運用における課題は。**

答 近年、解体にかかる費用が高騰していることや、特に市街化調整区域内にある空き家については、売却等による費用回収が難しいことなどが要因となって解体が進まないことが課題と捉えている。



教育費
49億2,512万円

学校施設開放事業

問 **小学校屋内運動場空調設備使用料については、市条例により1時間当たり650円と定められているが、金額設定は適切であったか。**

答 市の統一基準により算出をした金額を基に、類似施設の田原市総合体育館の現行使用料との比較等を行い、設定した金額となっており、市民サービスの公平性から、適切であると考えている。

共育推進事業

問 **部活動の地域移行による中学校の職員の勤務時間など負担の軽減について、具体的にどのような効果があったのか。**

答 これまで部活動に充てていた時間を授業や行事等の準備に充てることができるようになった。